

## 議 事 録

件 名	令和7年度 第1回松本市文化芸術振興審議会		
日 時	令和7年9月11日(木) 10:00 ~ 11:30	場 所	大手公民館2階 視聴覚室
出席者	松本市文化芸術振興審議会委員(6名) 事務局 小口文化観光部長、清澤文化振興課長、傘木係長、小林主査		

### 1 結 果

#### (1) 委員について

- ・ 委員の任期満了に伴い、今回全委員が交代した。
- ・ 互選により、金井委員が会長に、武居委員が副会長に決定した。

#### (2) 「松本市文化芸術推進基本計画」中間評価について

- ・ アンケートの実施方法について、LINEでの依頼に加え他の方法も検討されたい。
- ・ 若年層や障がい者等の意向が確認できる方法(本人回答に加え教員への調査など)を検討されたい。
- ・ アンケート項目について、様々な属性の市民が答えやすいような質問の流れや文章の表現を検討されたい。

### 2 今後の予定

- (1) 実施方法等を精査の上、10月中旬を目安に市民アンケートを実施
- (2) 回答集計、情報整理及び分析の上、1月に第2回審議会を開催
- (3) 年度末に松本市議会に結果報告後、内容を公表

【実施方法・依頼方法（資料1）について】

- ・LINEでの発信について、母数としては（R3）2000人→（R7）20,000人なので問題ないというのは理解できるが、前回郵送でも対応しているし、実際に電子回答だと答えづらい・煩わしく感じる人がいる。多様な人が答えられる（アンケートに参加できるような）工夫をした方がいい。
- ・回答率が上がるかどうかは別として、LINE登録者以外にも今回やることについて認知してもらうことも重要であるため、施設など目に触れるところに紙を置くなどPRした方がよい。
- ・公民館では、サークル活動など活動者が多い。配布すれば活動者の意向が聞ける。
- ・計画中には、ユニバーサルデザインや障がい者にも触れられている。これに関してうまく聞き取りができないか。
- ・学校に協力依頼をしてこれからの世代（10代）の意向を聞くべき。自分の声を受け止めてもらった実感を得られるような、何か形になるとよいのだが。質問内容からすると高校生以上であれば依頼できそう。
- ・幼稚園などに行くと子どもたちのとてもよい反応が見られる。子どもたちの声を聞きたい。
- ・先生など直接子どもと関わっている人の意見を聞くのがよいのでは。インターナショナルスクール、盲学校、養護学校なども含むとよい。
- ・教員などには、フォローアップとして今回の市民アンケートとは別の調査（調査項目も別）で行うとよいのでは。市民アンケート後にヒアリングなどを行い評価に活かすことが重要
- ・外国人は、今後文化財の担い手としても大きな力になるはずで、外国人の文化芸術に対する意向についても最終評価に向けては重要になる。外国人が答えられるようなやさしい表現にしてはどうか
- ・集計後には、回答者に結果を周知すべき

【アンケート項目（資料2）について】

●全体

- ・全体的に文章が固く、回答者の意欲をそそらない。
- ・多様な人が理解しやすく、回答しやすい柔らかい表現にすべき。
- ・「よくわからない」との回答や回答率が低い問いに対して、何を知りたいの

か、今後何を発信していくべきなのか、今後5年間に活かせるものにしたい。

- ・この結果を受けて最終的に何かを実行していくことを考えると、質問内容はより具体的な方がよい。

### ●導入

- ・回答者からすると、まず知りたいのは計画の理念ではなくこのアンケートが何に活かされるのか。合わせて計画など関係する情報へのリンクがあるとよい。
- ・対象となる「文化芸術」がとても幅広い分野であることを知らない人が多い。どのような分野がこのアンケートに該当するのか示した方がよい。(計画29p)

### ●質問項目

- ・属性の部分(Q1-2)をもう少し細かくする(外国語話者を加えるなど)ことで面白い分析ができる工夫ができるとよい。
- ・文化芸術分野と伝統文化分野が混ぜこぜで出てくるので、回答している人はいづれについて聞かれているのかよくわからず、面倒になる人が多いと思われる。
- ・「現代の文化芸術(演劇・音楽・工芸など)について」と「伝統文化(伝統行事、文化財、食文化)について」など大きく分類した方が答えやすい。
- ・具体例を入れることで、回答者が自分の立場を理解しやすくなる(文化芸術を楽しむ側・活動する側として答えるのか、文化財の保存や担い手の課題を実際に抱える側として答えるのか)。
- ・質問文に具体例をあげて答えやすく工夫した方がよい。
- ・Q3からの満足度調査について  
いきなり見てもよくわからないのでとりあえず「不満」としてしまう可能性がある。有効な分析ができる質問をしなければならぬが令和3年の質問項目を変えられないのが難しい。
- ・Q17について  
「中間支援組織」「アート事業部」と言われても理解できる人はほとんどいない。組織の説明ではなく、どんなことをやっているのか、どこで活動しているのか、などを加え、回答者がわかりやすい質問にした方がよい。
- ・Q22について  
継承しなければいけないけど担い手がないのが文化財の課題のひとつ。地域で保存活動をしている人への支援となるので質問としてはよい。ぜひ他の項目にも活かせる聞き方ができるとよい。
- ・メディア芸術も対象分野になっているが、アニメは松本でも人気で、今後益々注目されるはずなので関連する質問ができるとよい。